

会 議 録

- 1 会議の名称 令和4年度 第3回湖西市地域福祉（活動）計画策定委員会
- 2 会議日時 令和5年3月20日（月）午前10時00分～10時40分
- 3 開催場所 湖西市健康福祉センター研修室
- 4 出席者
 - (1) 委員 井川あい子委員、佐原伊佐男委員、菅沼敦子委員、彦坂克己委員、河田宗康委員、山下美恵子委員、末吉由佳委員、袴田晃市委員、鈴木祥浩委員、阿部祐城委員

(欠席者) 板倉福男委員、菅沼武彦委員、吉塚敬一委員、原田幸男委員、杉田洋一委員
 - (2) 事務局 湖西市：地域福祉課 課長 山本勝久、係長 水谷智行、主査 梅田紗也子
社会福祉協議会：会長 森宣雄、事務局長 吉原博明、係長 黒木昌子
計画策定委託業者：植村優子

5 次第

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 配布資料確認
- (4) パブリックコメント結果報告
- (5) 前回委員会後の修正箇所説明
- (6) 概要版説明
- (7) 委員意見・感想発表及び質疑応答
- (8) 次年度の予定について
- (9) 閉会

6 会議配布資料

- (1) 次第
- (2) 資料1 新旧対照表（誤字脱字等を除く）
- (3) 座次表 / 名簿

7 会議の内容

- (1) 開会

(事務局)

それでは定刻となりましたので、ただいまより「令和4年度第3回湖西市地域福祉（活動）計画策定委員会」を開会します。

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日は3回目の策定委員会となりますが、今回で計画策定における最終の委員会となります。皆様のご意見をいただきながら策定いたしました地域福祉計画におきましては、基本理念として住民同士が支え合いながら、安心して、しあわせに暮らせる社会をテーマとして作成をまいりました。本日は、前回以降に行われましたパブリックコメントや、最終案の報告をさせていただきます。皆様からたくさんのご意見を頂戴したいと思っておりますのでよろしくお願いします。それでは、委員長の井川様からごあいさつをお願いいたします。

(2) 委員長あいさつ

(井川委員長)

お忙しい中、ご出席ありがとうございます。今日が最終ということですが、資料を前もっていただいておりますのでいろいろなご意見があろうかと思えます。まずは事務局からの説明報告をお伺いしてから、ご意見など述べさせていただきたいと思えます。議事の進行にあたりまして、スムーズに進みますよう皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、本日の内容についてご説明いたします。パブリックコメントの結果、前回の委員会後に修正した箇所、計画概要版の三点について事務局より説明をいたします。本日頂戴する皆様のご意見を反映し、計画の最終案とし、市長に報告する予定でございます。それでは、司会進行を議長をお願いいたします。

(3) 配布資料確認

(井川委員長)

それでは、配布資料確認、パブリックコメントの結果報告、前回委員会後の修正箇所の説明を事務局より続けてお願いいたします。

(事務局)

配布資料確認

(4) パブリックコメント結果報告

(事務局)

令和5年1月19日木曜日から2月17日金曜日までを募集期間としました。対象は、市内に在住・在勤・在学の方、市内に事務所・事業所を有する方、もしくはパブリックコメント手続きにかかる事案に利害を有する方を対象としております。計画案の閲覧場所は、健康福祉センター1階の地域福祉課、市役所

1 階情報コーナー、新居地域センター、西部地域センター、中央図書館、新居図書館、南部地区構造改善センター、北部多目的センター、老人福祉センター、市ウェブサイトで公表いたしました。ご意見の提出方法は、メール、郵送、ファックス、窓口に直接提出といたしました。市役所だより 1 月 15 日発行号、及び市ウェブサイトにより周知をいたしましたが、期間中のご意見はございませんでした。

(5) 前回委員会後の修正箇所説明

(事務局)

資料 1 をご確認ください。前回の委員会後に修正した点のうち、言い回しの統一、誤字脱字の修正を除く少し程度の大きい修正点について対照表に掲載しております。

まず計画の名称です。前回の委員会までは「第 4 次湖西市地域福祉（活動）計画」としておりましたが、その後「第 4 次湖西市地域福祉計画・第 5 次湖西市地域福祉活動計画」と名称を改めました。これは、地域福祉計画と地域福祉活動計画がそれぞれ第 4 次、第 5 次と期が異なるため、今後継続していく時に、第何期なのかがわからなくなならないように、分けて記載をしております。

次に、計画の 1 ページの文章について、基本理念と統一をしております。

次に、計画の 3 ページ、湖西市の動きと計画策定の趣旨の文章について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、地域の活動が、一旦動きがなくなってしまったことを明文化しました。また、湖西市が目指す「職住近接と湖西市の持続的な発展」という文章を追加しております。

次に、本計画の 7、69、70 ページの市民意識調査の表記について、令和 3 年度に本計画策定のために実施したアンケート調査とは別に、湖西市が毎年市民意識調査をしており、市民意識調査と計画のためのアンケート調査が混同してしまうため、本計画のためのアンケート調査ということがはっきりと分かるように、調査の名称を変更しております。

次に、8 ページのグラフについて、資料を総合計画に変更して統一をしております。また 14 ページのグラフについては、前回記載していたグラフの位置が逆だったため修正しております。さらに、15 ページの要支援、要介護認定者数の推移等について、対象の年を変更しております。

次に、10 ページの追記に世帯数・1 世帯当たり人員数の推移を記載いたしました。前回の委員会で彦坂委員からのご意見で、住民基本台帳の人口と国政調査の人口が異なるのはご覧になった方が疑問に思うのではないかとということでしたので、追記いたしました。

次に、43 ページ、具体的な取組について、今までは「子どもから高齢者まで」としか記載がなかったのですが、「外国人市民等」を追加しております。前回委員会で末吉委員からご意見を頂戴しましたので、こちらを反映いたしました。

資料裏面をご覧ください。51 ページに、No. 29 を追加しております。赤い羽根共同募金運動の推進と歳末たすけあい募金運動の展開という内容についてですが、自分の住んでいるまちをよくするための募金であり、いちばん身近なボランティア活動となるため追加しております。次に、53 ページの追記は先ほど申し上げました外国人市民等を同様に追加したものでございます。

最後に、委員会名簿と委員会設置要綱、用語解説を追加しております。

(事務局)

(井川委員長)

ありがとうございました。続きまして、概要版の説明をお願いいたします。

(6) 概要版説明

(事務局)

第4次湖西市地域福祉計画、第5次湖西市地域福祉活動計画の概要版を皆様のお手元に配布させていただいております。計画をパッと見て分かりやすいものとして、概要版を作成しております。1ページ目に、「地域福祉とは」として、地域の皆さんが協力しながらやっていかないとできないことを趣旨として記載し、わかりやすいように図を入れております。また、地域福祉計画と地域福祉活動計画を今回は一体的に策定するという変更があったため、掲載しております。また、関連計画との整合として、本計画の位置付けや他の計画との関連性などを図で示しております。

2ページ目、計画の基本理念と計画の体系を記載しております。基本理念が「誰もが自分らしく、安心して、しあわせに暮らせる社会」で、その下に3つの柱として基本目標を掲げております。この3つの柱を実現するために、右側9つの基本施策を定めております。また、下段には重点施策として「包括的な相談支援体制の整備」と「地域づくりに向けた支援」の2つを重点として記載しております。

3ページ目から5ページ目までにつきましては、それぞれの基本目標ごとの基本施策に応じて、市と社協のやるべきこと、市民、地域の方々にやっていただきたいことをそれぞれ記載しております。

6ページ目は今回の計画で定めた指標の一覧です。前回の策定委員会等でもご説明させていただきましたが、この指標の定め方として4つの考え方があります。1つ目、3つの基本目標ごとに市の目標を1つ以上、社会福祉協議会の指標を1つ以上設定。2つ目は、3つの基本目標ごとに毎年測定できる指標を1つ以上、次の計画を策定する前の市民アンケート調査において、測定する指標を1つ。3つ目が、9つの基本施策ごとに1つ以上の指標を設定すること。4つ目に、重点施策の達成状況を図る指標をできるだけ多く採用するという、この4つの考え方を基に、一覧の通り指標を定めております。

7ページ目、この計画の推進についてどういう形で進めていくかについて、「住民・団体等との連携強化」として、市民、地域に福祉というものを我が事として捉えてもらい、関係機関との連携を強化していきます。続いて「庁内連携体制の強化」として、福祉の関係課の連携を強化し、包括的な相談体制の整備に努め、この計画を進めていくことを示しております。

(7) 委員意見・感想発表及び質疑応答

(井川委員長)

それではここまでの説明報告について、委員の皆様からご意見や感想を伺います。ご質問でも結構です。佐原委員から順番をお願いいたします。

(佐原委員)

おはようございます。NPO法人さざなみ会の佐原です。私はこれでよいと思います。

(彦坂委員)

光湖苑の彦坂でございます。感染に関する文言が一語も入っていなかったのも、今回修正の中に入っているのもこれでよいと思いました。

様々な意見の中で、5年という長い期間での策定なものですから、法改正などもあるかと思いますが、当然評価をするわけですが、できるならば容易に計画を変更できるような文言など、一語入れてはいかかと思いました。

(河田委員)

微笑こども園の河田です。概要版はやわらかくて暖色系で、とても見やすくよいと思います。

私どもはこども園ですので、いつも5年後やその先の未来を考え、子育て環境であったり、出生率であったり、子どもに関する明るい未来、もっと子どもが増えるなど、様々な事を常々考えて仕事をしています。未来に光がさすような、福祉の分野でも具体的な活動内容が展開されるように期待しています。

(山下委員)

私も意見は特にありませんが、いちばん最初、住民同士で支え合いながら自分らしく安心してしあわせに暮らせるという湖西市にできたら本当によいので、努力していかないといけないと思っています。

(末吉委員)

外国人市民等の追記、ありがとうございます。私の個人的な感想ですが、概要版4ページの「2 地域福祉を担う人材育成」に、若い世代が地域活動に参加できるような仕組みを作りましょう、とあります。逆に、IT や SNS の発信力などの若い世代の持つ知識を有効活用できるような活動や、若い世代を主役とする活動がもっと増えればよいと思いました。高齢者の持つ知識や技術を活用したボランティア活動の推進ももちろん大事ですが、若い世代が主役となる活動がもっと増えればよいと思いました。

(菅沼委員)

先ほど末吉委員が言われたのと同じで、新しく加えた外国人市民という表現が各所に目に入り、これからの社会を考えると、日本人だけではなくて外国の方が多く湖西市にも入ってくるだろうということが想像されます。そうすると、生き方、働き方、習慣等による価値観の違いなど色々な問題が起きてくることが予想されますし、湖西市で暮らす子どもたちの教育等にも関係してくると思います。そういったことも考えると色々と複雑になって、この福祉に限らず、色々な分野で考えていかなくてはならない問題だと思います。縁があって日本で暮らす外国の方たちが、湖西市に住んでいろいろな面で恩恵を受けたと思えるような施策をしていただけたらと思います。

それから場違いかもしれないのですが、外国人とは限らず、無園児という言葉を使いました。この湖西市では、保育園、保育所とか幼稚園に通っていない未就学児童がどのくらいいるのか、また時間がありましたら、教えていただけたらと思います。

(袴田委員)

改めまして、皆様、おはようございます。健康福祉部長の袴田でございます。この度は、この第4次湖

西市地域福祉計画、第5次湖西市地域福祉活動計画の策定を、長い期間に渡り策定にご協力をいただきましてお礼を申し上げます。

先ほど、彦坂委員からお話のありました、5年という計画期間は長いということですが、最近の計画は、3年ごとのサイクルで見直すというようなところがあるのですが、この計画につきましては5年となっております。市といたしましても、法令や状況が変わることがあれば、中間目直しも視野に入れて、今後この計画を推進してまいりたいと思っております。また後で事務局からも話があると思いますが、この会で計画をただ策定したということにとどまらず、来年度以降は推進についてご意見をいただくため、少なくとも年1回、経過報告をさせていただくということを含めて活動いただければと考えております。

それから末吉委員からお話のありました若い世代の情報ですが、昨年度からのDX推進計画として、市全体としてDXの推進にも取り組んでいる中で、ウェブサイト、SNS、LINEなどを使っていろいろな情報発信をしております。しかし、福祉分野ではまだまだ遅れている部分がありますので、若い世代の方に情報が的確に届くような形で、今後取り組んでまいりたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

(鈴木委員)

子ども家庭課長の鈴木と申します。新聞資料等でご存じかと思いますが、来年4月からこども未来部ができ、課が2つになって実施していくことになりました。国のこども家庭庁と一緒のタイミングでよいと思っておりますが、その中で何をやっていくかということです。こども政策課とこども未来課という二つの課になり、子育て施策を進めていくこととなりますので、皆様よろしく願います。この第4次、第5次の計画に沿って、子ども施策に関して進めていかなければならないと思っていますのでよろしくお願いいたします。

(阿部委員)

皆様、おはようございます。市役所高齢者福祉課長の阿部でございます。今回、策定したこの地域福祉計画では、高齢福祉課は、社会福祉協議会始め、各種関係団体、また、この計画を見ていただくとわかるのですが、福祉サービスの充実や課題を抱えた方のいわゆる高齢者版の施策、様々な課題を抱える高齢者の方への支援といった施策部分で、色々と関係している部分がございます。これから、地域福祉計画に沿った形で、介護や福祉の面で、施策を進めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(井川委員長)

皆様、いろいろなご意見ありがとうございました。先ほど、若い世代をということ、それから未来を担う子どもたちに光がさすようにとご意見がありました。近所に子どもの声も聞こえないような地域があるのですね。この策定とは違いますが、いきいきサロンをやっており、スタッフ同士で話し合いました。子どもと高齢者をなんとか結びつけていこうと、今までは土日を避けて開催していましたが、土曜日なら子どもが出られるというので、新しい試みを4月から始めようと計画しております。

今、教育関係でもいろんなことが話し合われています。校区もこれからどうなるのかという話をしていきます。いわゆる幼稚園児の子どもも少なくなるなど寂しい話が多くありますが、本当に今いる子どもたちを大切に育ててほしいと思いました。

この策定委員会で話し合われたこと、それからこれをきっかけに皆さんの近所をみる考え方も変わる

と思います。ご熱心なご意見、本当にありがとうございました。

(事務局)

先ほど彦坂委員からいただいたご意見について補足させていただきます。計画期間の件ですが、国の指針で5年となっております。5年間で展開して、3年ほど経過した際に実状に合っているのかを検証して見直すという流れがオーソドックスとなっております。先ほど袴田委員のお話にもありましたが、年に1回程度、この計画の進捗について皆様にご報告させていただく上で、見直すべきものは見直して計画を修正する、という運びになっていくかと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(8) 次年度の予定について

(事務局)

これまで計画の見直し時に限りこの策定委員会を開催してきましたが、次年度以降は年に1回委員会を開催し、計画の進捗状況についてご報告申し上げ、委員の皆様のご意見を頂戴したいと考えております。次年度につきましては、現行計画に関する令和4年度の取り組みをご報告いたします。また、皆様の任期が令和6年2月9日までですので、令和5年度の策定委員会にもご出席をお願いいたします。

(事務局)

社会福祉協議会で、この計画策定に向けて地域の皆様方との懇談会として、各中学校区単位でお話し合いをさせていただきました。懇談会以降、第2層協議体、地域支え合い推進会議ということで中学校区ごとの話し合いを行っております。懇談会で自分たちの住んでいる地域の課題や様々なご意見を出していただき、その意見、課題についてどのように今後解決をしていくかこの第2層協議体で話し合いが行われております。今後もこの中学校単位の第2層協議体で皆様方に出していただいたご意見を基に、話し合いを進め、自分たちで解決ができるような地域を作っていけるように進めてまいりたいと思っています。またご報告をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(井川委員長)

ありがとうございました。以上で議事が終了しましたので、司会を事務局に戻したいと思います。

(9) 閉会

(事務局)

ありがとうございました。それでは最後に、湖西市社会福祉協議会の森会長から閉会のごあいさつを申し上げます。

(森会長)

委員の皆様には大変貴重なご意見ご発言等をいただきましてありがとうございます。3年以上に及ぶ

コロナ禍は、地域の交流や福祉活動の停滞を招きましたが、ここへ来てマスク着用のルールなど感染防止対策の方針変更により、私たちの日常が少しずつウィズコロナへ進んでいるように感じております。

こうした中、本日まで委員の皆様方にご検討いただく中で策定することができました地域福祉計画と地域福祉活動計画が、来年度からスタートすることになります。計画の基本理念、「誰もが自分らしく、安心して、しあわせに暮らせる社会」を実現するための具体的な取り組みを着実に実行するため、市や社協の果たすべき役割は大変大きいものがあると感じておりますが、地域の方々や関係団体の皆様と協力連携して、湖西市の地域福祉の推進に取り組んでまいりますので、委員の皆様方には引き続きお力添えをいただければと考えております。

それではこれまで計画策定にご尽力いただきました委員の皆様に改めて感謝を申し上げ、「令和4年度第3回湖西市地域福祉・地域福祉活動計画策定委員会」を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

以上